

第3回 化学物質排出把握管理促進法 に関する懇談会資料

平成18年7月27日

新潟県環境対策課 堀井一雄

1. 新潟県における平成16年度 P R T Rデータの集計結果について

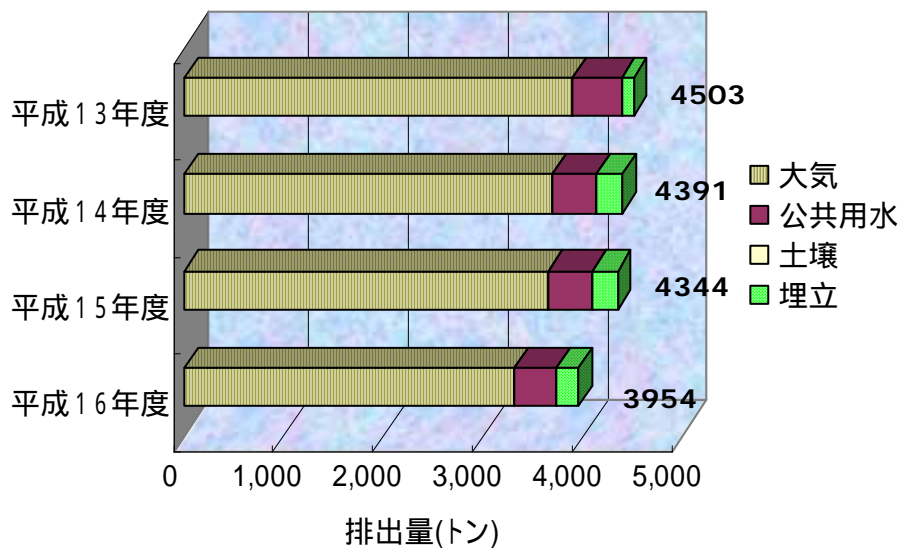


図1 新潟県内の届出排出量の推移

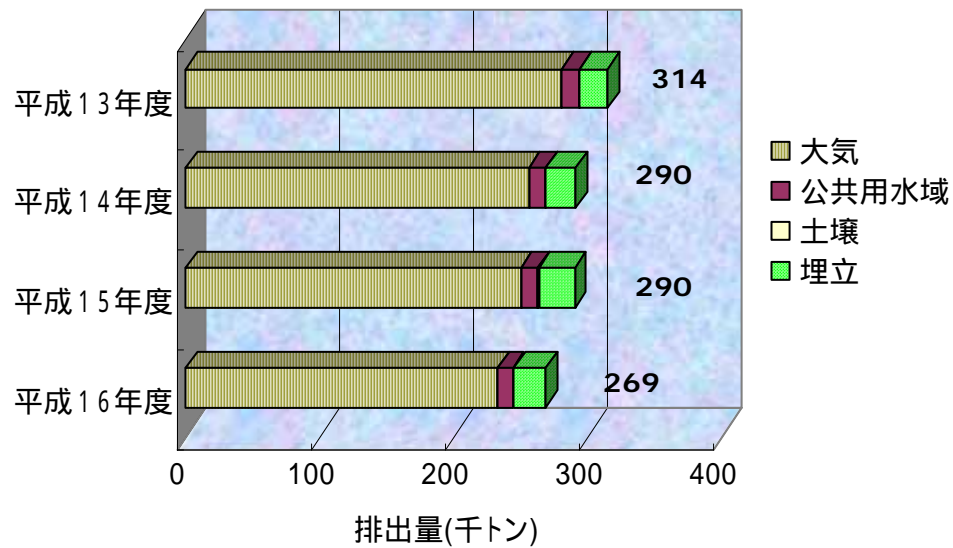


図2 全国の届出排出量の推移

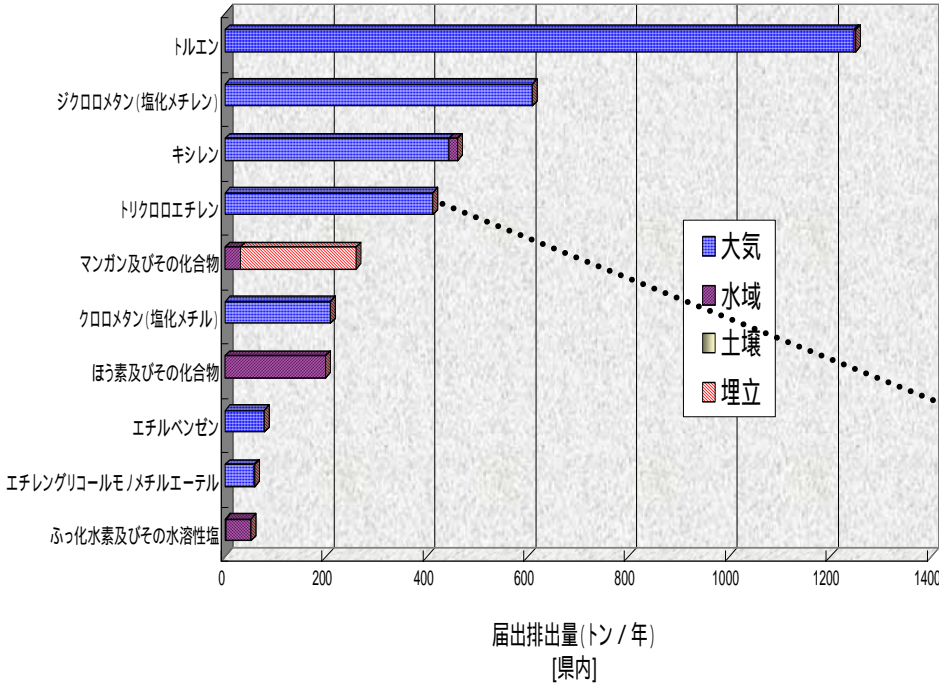


図3 新潟県内の届出排出量が多かった
上位10物質

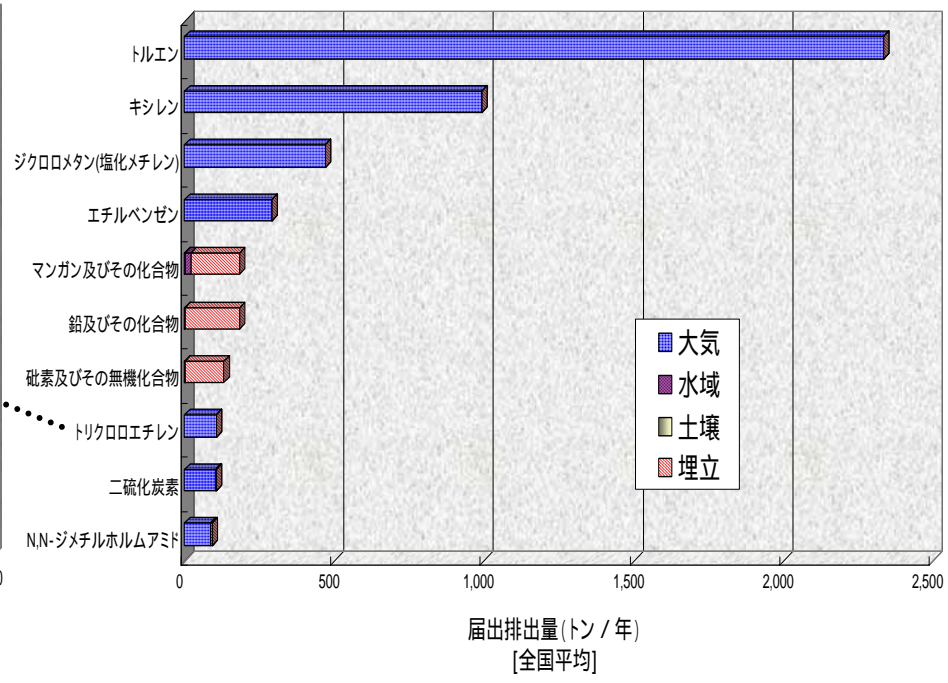


図4 全国の届出排出量が多かった
上位10物質(全国平均)

2. 災害と化学物質使用事業場

新潟は平成16年に相次ぐ災害が発生しました(表1)。

表1 水害と震災の被害と罹災地域の事業場

区分	7.13水害	10.23大震災
住家被害	7,514棟 (床上浸水以上)	120,550棟 (一部損壊以上)
非住家被害	6,900棟	40,385棟
水濁法届出(有害物質使用)事業場	43事業場	594事業場

写真1 7.13水害



三条市 五十嵐川

写真2 地震により倒壊した家屋



3 . 新潟の産業と化学物質の使用

新潟の豊かな水資源や労働力を活かし、生産量等が日本一の産業があり、地域の経済社会を支えています(表2)。

表2 新潟県の生産物と使用化学物質

区分	生産量・出荷額	使用化学物質等
米の収穫量	652,100t	肥料、農薬等
食卓用ナイフ・フォーク・スプーン出荷額	12,110百万円 (全国シェア約90%)	有機塩素系溶剤等
ニット製女性セーター出荷額	34,200百万円	〃

(その他日本一の産業等)

米菓の出荷額 切り餅・包装餅の出荷額 石油ストーブ出荷額
石油の生産量 磁気ヘッドの出荷額 チューリップの切り花出荷額 等

4 . 化学物質対策の当県の課題

工場・事業場での使用量や蓄積量の把握

使用事業場の位置情報による事故時等における迅速な対応

事業場における自主管理の促進

凡例

HI 3benzenOI イヤト

排出量-イ

- 0.0 - 51.0
- 51.1 - 590.0
- 590.1 - 1200.0
- 1200.1 - 3900.0
- 3900.1 - 10000.0
- 10000.1 - 59000.0
- 59000.1 - 130000.0

HI 3triOI イヤト

排出量-イ

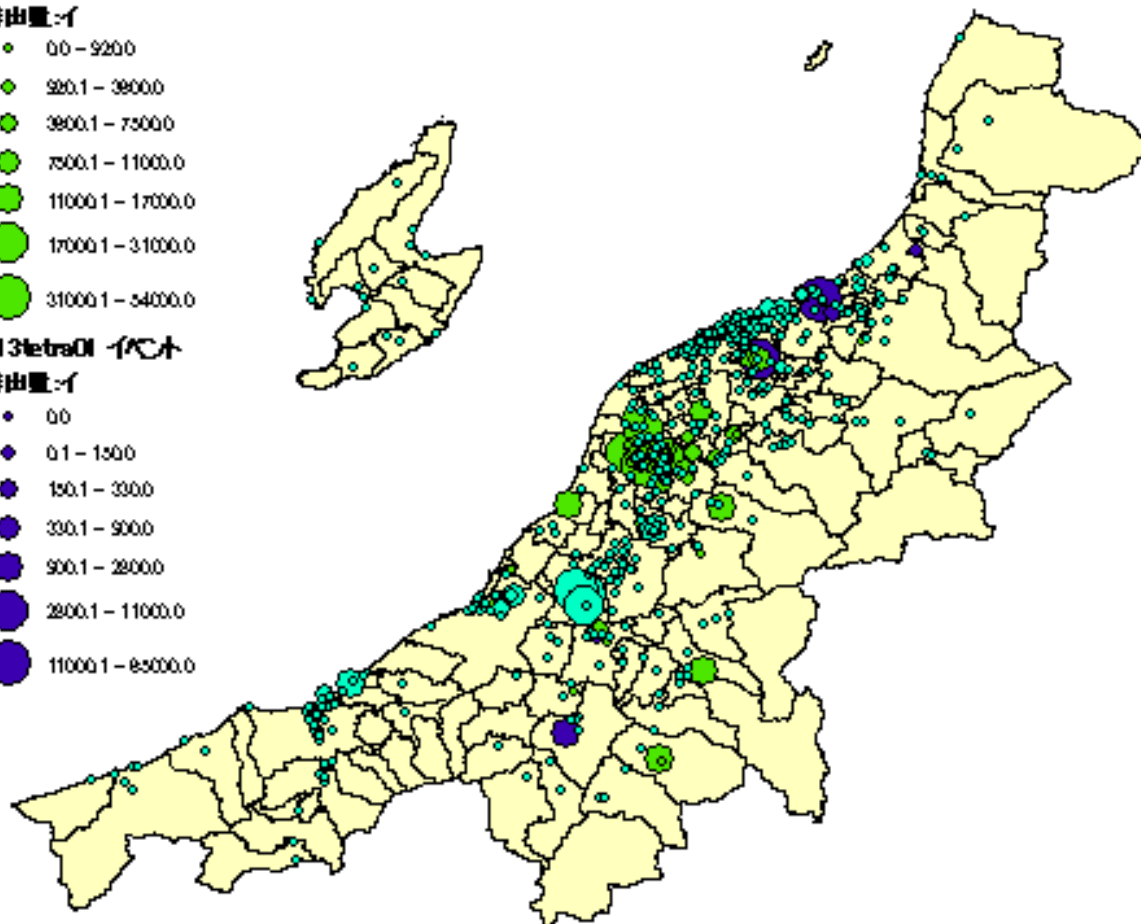
- 0.0 - 920.0
- 920.1 - 3900.0
- 3900.1 - 7500.0
- 7500.1 - 11000.0
- 11000.1 - 17000.0
- 17000.1 - 31000.0
- 31000.1 - 54000.0

HI 3tetraOI イヤト

排出量-イ

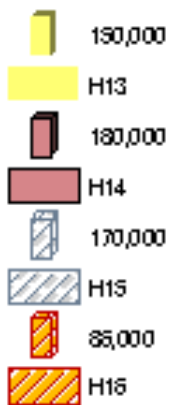
- 0.0
- 0.1 - 150.0
- 150.1 - 300.0
- 300.1 - 900.0
- 900.1 - 2900.0
- 2900.1 - 11000.0
- 11000.1 - 85000.0

図5 平成13年度のベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンの排出量



(ArcView使用)

凡例



H16市町村計

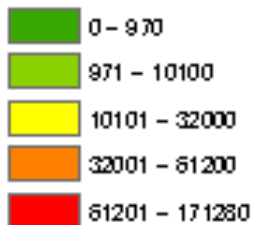
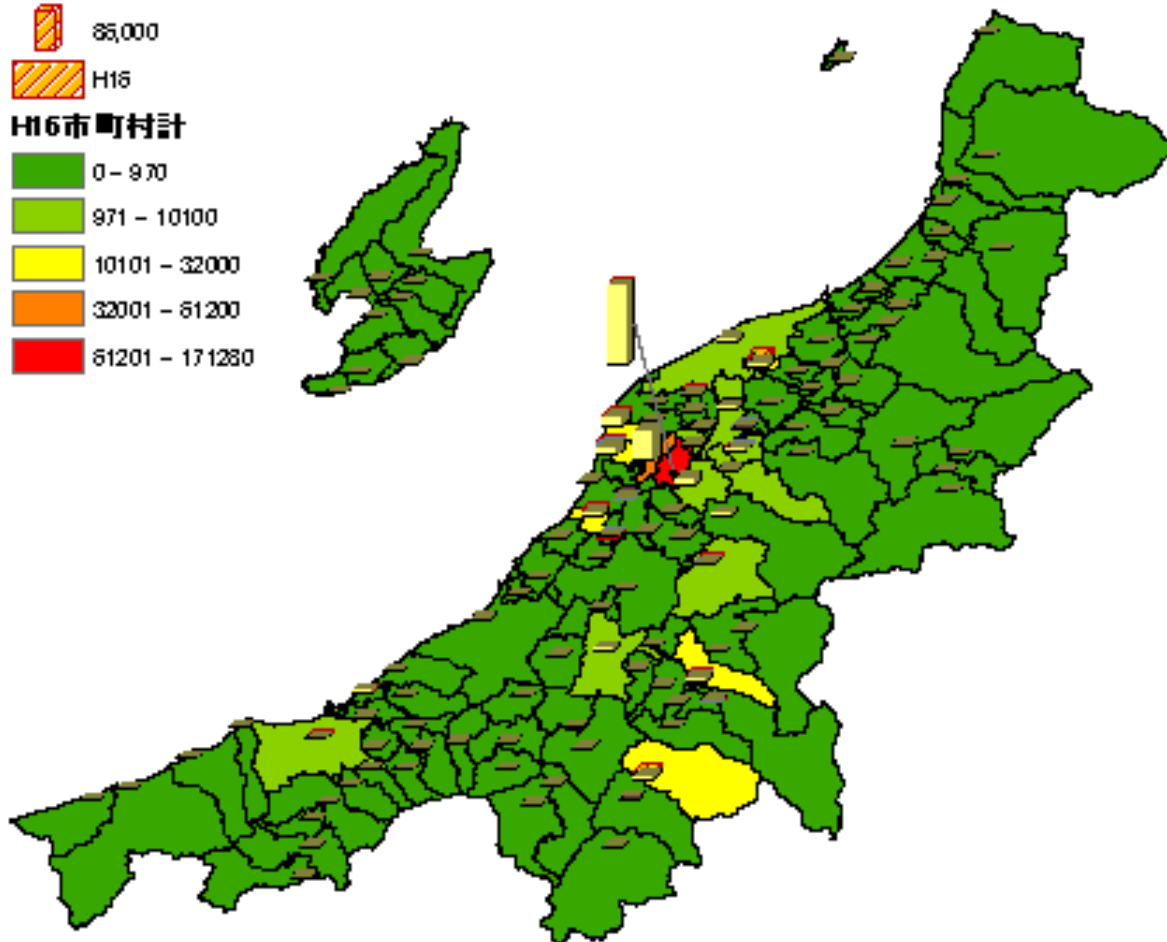


図6 平成13、14、15、16年度のトリクロロエチレンの排出量の変遷



(ArcView使用)

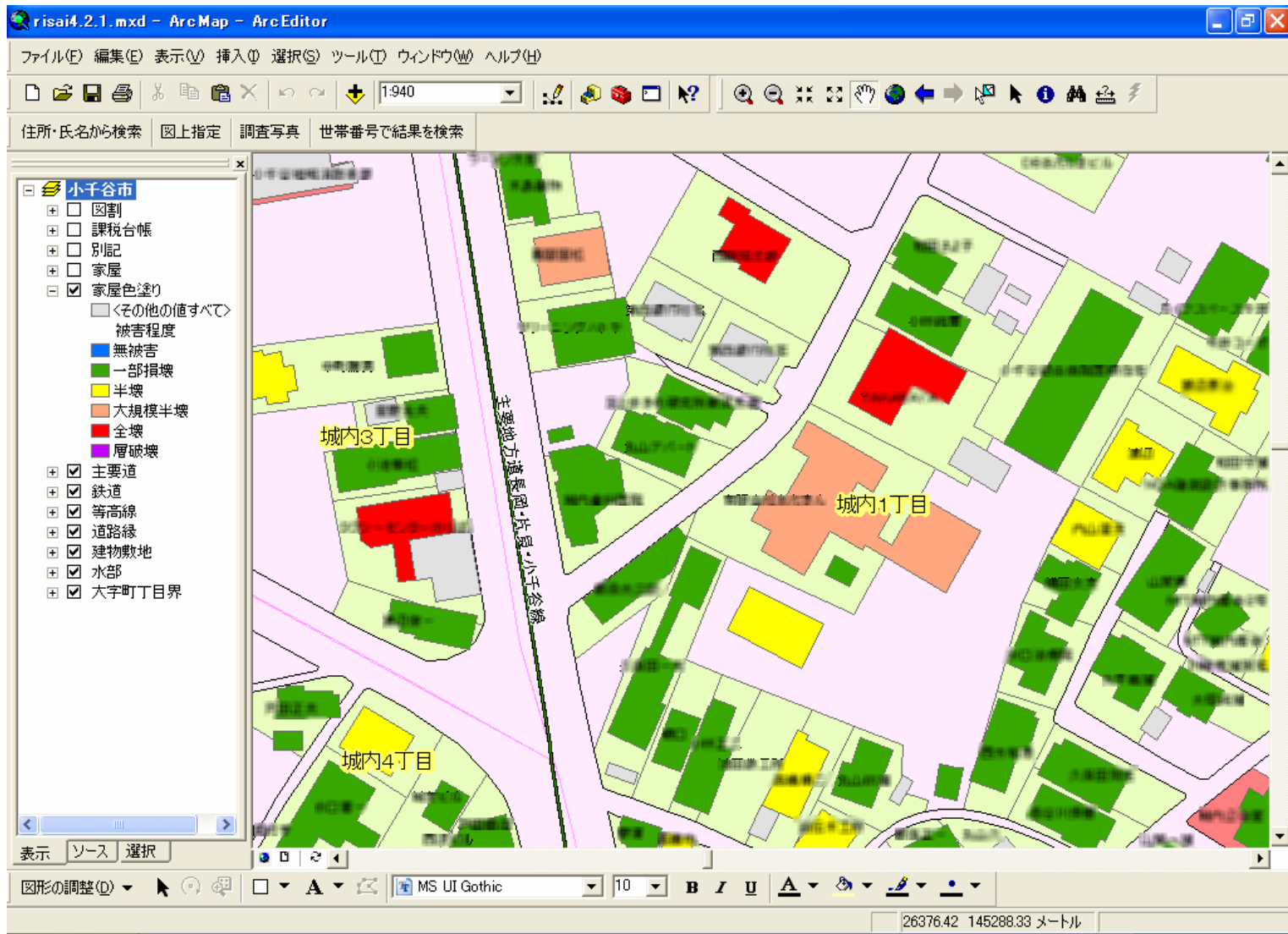


図7 小千谷市の地震被害のGISデータ例

(ArcView使用)
(提供:小千谷市)